

新しい大阪へ

橋下「維新」政治

大阪人は、建前でなく本音で話します。気さくで、地位も家柄も関係なく、れとでも付き合える。江戸時代以来の庶民の伝統です。

しかし、本音の質の悪さを恥もせず押し出し、さっき言ったことを平気で覆し、それを恥ずかしいとも思わない人がいます。橋下徹大阪市長は、まさにそれです。

大阪市ですと第1党だ



大阪人は、建前でなく本音で話します。気さくで、地位も家柄も関係なく、れとでも付き合える。江戸時代以来の庶民の伝統です。

元大阪城天守閣館長

わたなべ たける
渡辺 武 さん

力とカネにしか興味がない野心家の集まりだと思いません。

今までは異質

橋下「維新」の8年間は、府民・大阪市民にとってひどい災難でした。

最初が、憲法も労働基準法も労働組合法も無視した、職員・労組攻撃です。そして教育への介入。文化団体・施設は目の敵にされました。

民間人校長となった一人は、卒業式で「君が代」を

本心に歌っているか教員の口元をチェックするという、破廉恥な事件を起こしました。この校長は、松井知事のもとで教育長となり、パワハラで辞職に追い込まれました。

文楽協会の補助金にケチをつけた橋下市長は、このとき初めて文楽を見たら、職員・労組攻撃です。

も、初めて見ておもしろいとかわかるはずがない。自分の不勉強を恥じるどころか、「わからぬ、おもしろくないからなんとかし

政治に終止符を打ち、住民

る」と。自分がエライ人間であるかのように振る舞う。

私は、大阪市に長年勤務し、市長候補もやりました。古い体質の大阪市政を変えたい、この思いは変わりません。しかし橋下「維

新」は、今までは異質です。民主主義も憲法も無視したことを平然とやるからです。

ダブル選で、橋下「維新」

歴史の転換必ず

の命と暮らしを守ることもな府政・大阪市政を取り戻したい。それは、憲法「改正」で橋下「維新」の協力を得たい安倍政権に打撃を与え、日本の政治的な空気を変える転換点ともなるはずで

歴史研究にかかわっている私は、この出来事は歴史年表に載るかどうか、どう考えてしまいます。いま、政党や労組・団体だけでなく、一人ひとりが「憲法と民主主義が危ない」と立ち上がり自分の言葉で話し出した、すごい時代です。「この年、歴史が転換した」と言える結果を必ず出したい。

聞き手・写真 菅沼伸彦

本音の質の悪さを恥もせず